

# Special Interview

## MANAKA OYAMA

群馬大学情報学部情報学科合格

issue

05



勉強で大切なのは、とにかく基礎を徹底すること。

写真・構成・文=阿久津伊吹

群馬大学情報学部情報学科合格おめでとうございます！受験生活は大変だったと思いますが、どんなふうに勉強されていましたか。

ありがとうございます！正直な話、もともと勉強に対する意欲が低く、高校1・2年生のころは学校から帰ってきただけで好きなテレビをずっと見る生活を送っていました。おまけに塾に行くのにも抵抗があったため、KEEPに入塾するまでは自分で勉強をしていました。でも高校3年生になってから、友達と受験について話すことが多くなったことで、受験への意識が高まり、だんだんと受験に向けて勉強するようになりました。最初は1日5時間勉強する目標を立てるわけですが、それまで全く勉強をしてこなかったため、すぐに集中力が切れてしまったり、部屋で勉強しているとすぐにベッドに寝転がったりしてしまい、勉強がはかどらなかつたのを覚えています。でも、徐々にペースがつかめるようになってきて最終的には1日10時間は勉強できるようになりました。

どういうきっかけでKEEPに入塾したんですか？

群馬大学の試験科目は英語と数学のみだったので、数学はもともと得意だったのですが、あまり心配していませんでした。でも、英語は苦手意識があり、

もともと母から英語だけでも塾には行つておいた方がいいと言われていました。ただ、先ほども言いましたが、私は塾に通うのが苦手で、あまり行く気にはなれなかつたんです。しかし、共通試験が終わわり、群馬大学の過去問を解いてみたところ、英語長文が予想以上に読めないと感じ、これではマズいと思いました。二次試験まで残りわずか1ヶ月だったので、急いで母に塾を調べてもらい、KEEPに面談しに来ました。

KEEPではどういったことを重点的に学びましたか？

最初の面談では、試験まで時間がありませんでしたので、私が苦手とする読解力に集中して学習を進めていくことに決めました。そして、残り1ヶ月で私が合格できるように、私だけのカリキュラムを先生が作ってください、1ヶ月間の集中特訓が始まりました。先生には、1ヶ月間の目標設定だけでなく、毎回の授業冒頭に確認テストをすることで、学習管理もしていただきました。また、群馬大学では英文和訳などの記述式の問題が出題されるため受験生の精読力が問われます。そのため、授業では文構造を正確に捉える練習も徹底して行ないました。これは余談になるのですが、先生が授業のなか

で、コーラができた背景話をしてくるんです！それが個人的には好きでした笑。

入塾する前と後でどのような違いがありますか？

お恥ずかしい話、十一月の模試では群馬大学の志望校判定が〇判定という結果でした。共通試験もなんとなく読めるので、二次試験もなんとなく読めるのに軽く考えていましたが、過去問を実際に解いてみてこの考えが甘かつたと痛感しました。これが入塾前の私の状態です。しかし、1ヶ月の集中特訓で語彙力を大幅に強化し、文を正確に読む訓練を何度も重ねたことで、読解力が飛躍的に向上し、その結果、記述問題の正答率もあがりました。

群馬大学では情報学部に進学されますが、どんなことを学ばれる予定ですか？また、その学部を選ばれた理由も教えてください。



阿久津代表（左）と大山真佳さん（右）の対談の様子です。

情報学部情報学科は文理融合の学部で、プログラミングはもちろんのこと、最近注目を集めているデータサイエンスについて学ぶこともできます。ただそういった理系的な側面だけではなく、人間への理解を深めることができるカリキュラムになってます。私はもともと倫理がすごく好きで、「性格の違いがなぜ生まれるのか」みたいなことにすごく興味があります

私はずいぶんかといふと文系なのですが、今後の将来のことを考えた時に、理系のスキルもあつたほうが就職する際にプラスになると思っています。そこで、いろいろな大学を自分で検索し、文理融合型プログラムをやっている、かつ自身が興味をもてる学習プログラムをやっている群馬大学に決めました。

最後に、受験生の方にメッセージなどありましたら一言お願いします。

私は高校3年生になるまで、あまり勉強をしておこなったので、今振り返るともつと早く受験勉強を始めておけばよかつたなと思います。なので、みなさんには高校1年生のうちから、自分の進路についてしっかりと考え、計画的に受験勉強を進めていって欲しいです。

あと、私が勉強で大切にしてきたことは、とにかく基礎を大切にすることです。いや、むしろ基礎しかやってきてません笑。このことはどの教科にも言えることだと思います。なので、まずは1冊の参考書を何度も繰り返し演習して、基礎力を高めていってください。応援しています！